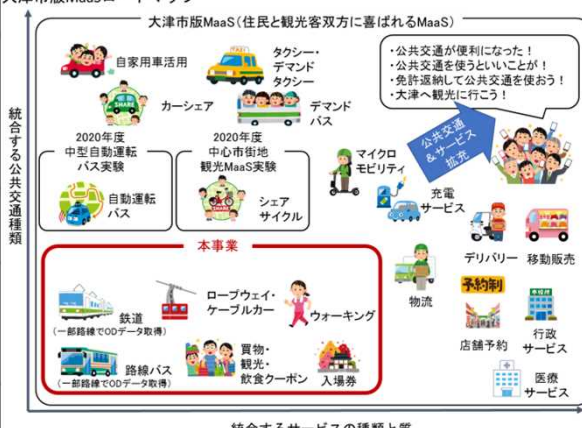


大津市中心市街地及び比叡山周遊の活性化を目指した大津市版MaaS 国土交通省 実証実験

コロナ禍における市民生活および商業施設支援、地域観光振興を行うため、安心・安全で便利な移動を可能とするMaaSサービスを住民・観光客に提供する。また、地域住民の健康増進と公共交通の利用促進に向け、健康推進アプリ「BIWA-TEKU」と連携した「歩き＋公共交通」デジタルスタンプラリー「健康」ウォーク&ライドキャンペーンを実施する。

協議会の構成員	【幹事】大津市、京阪ホールディングス(株)、京阪バス(株)、日本ユニシス(株) (以上、4団体幹事)、京都大学大学院工学研究科社会基盤工学専攻空間情報学講座、滋賀県、国土交通省近畿運輸局、経済産業省近畿経済産業局			取組イメージ	
地域課題	- 公共交通の利用者の減少や運転手の高齢化等による公共交通の減便・廃止等による、公共交通の利便性の低下や観光客の減少 - 利用者の減少等による公共交通事業者の経営の悪化 - 新型コロナウイルスの影響による、観光業者の業績の悪化			MaaSを通じて提供しているサービス 大津市版MaaSロードマップ  観光スポット検索  “健康”ウォーク&ライドキャンペーン 	
取組の概要	期間	2020年10月16日(金)～12月6日(日)		検証結果	“健康”ウォーク&ライドキャンペーン参加者は、2,296人。同時期に大津市内で実施されたその他のスタンプラリー参加者との比較において、公共交通利用が考えられる移動速度6km/h以上の割合が、本キャンペーン参加者は33%、その他のスタンプラリー参加者は14%であり、19%の公共交通利用促進効果があった。 - デジタル乗車券販売枚数は1,095枚。新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けたものの大津市内・比叡山一帯周遊乗車券「ことこと比叡山周遊」は紅葉スポットや比叡山延暦寺イベント情報とのアプリ内連携を強化した結果、利用枚数が昨年より200件程度増加し、観光客誘引効果があった。 25施設・店舗からデジタルクーポンの発行協力を得た結果、クーポンダウンロード枚数は288枚、利用率は35.7%。旧竹林院、峰道レストラン・展望台等、昨年よりもクーポン取得数・利用数が増えている店舗等もあり、エリア内で一定の経済効果があったと考えられる。
	エリア	滋賀県大津市中心市街地～JR 石山駅より南部の京阪バス路線沿線エリア、坂本比叡山口～石山寺、比叡山～出町柳(京都市)			
	MaaSシステム	MaaSアプリ「ことことなび」を独自に構築			
	交通サービス	鉄道や路線バスのデジタルフリーパスの販売			
検証内容	交通以外のサービス	- 施設・店舗等のスポットの検索機能や目的地までの案内機能の提供 - 施設・店舗等のデジタルクーポンの無償・有償配布 - 観光・店舗情報の配信 - スタンプラリーの実施 - 新型コロナウイルス対策として駅・施設等の混雑情報の配信 - 健康推進アプリ「BIWA-TEKU」と連携し、公共交通の利用と歩きを組み合わせたスタンプラリーの実施		今後の方向性	健康をテーマに歩きと公共交通を組み合わせることで公共交通利用促進効果が得られたこと、観光情報のアプリ内連携強化により周遊券利用枚数が増加したことから、デジタル乗車券等により「移動」を便利にすると共に、「移動」のきっかけや目的となるサービスの拡大等により「移動」の魅力向上を図り、より利便性の高い移動環境の構築を目指す。